



2021年12月議会 一般質問

白井議員は、一般質問で通学路の歩道整備、学校給食センターの存続、PCR検査体制、デマンドあづみなど公共交通について取り上げました。

通学路の歩道整備を早く！！

子どもの命が優先

答弁では、これまで以上の整備方針は示されず

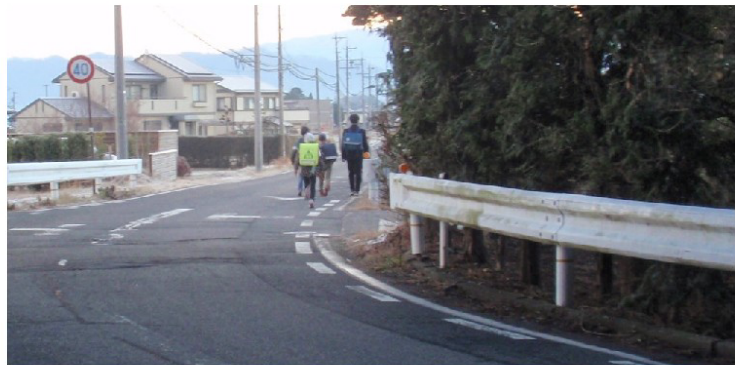
白井 危険な通学路を子どもが毎日利用し、保護者や地域の人々が道路整備を要望し続けていることと、歩道整備が進まない状況をどう認識し、歩道整備をこれまで以上にどう進めようとするのか。

市長 保護者や地域の皆さんが児童生徒の安全に対する深い思いがあることは承知している。市道整備の新年度予算の編成に当たり、安全確保に意を用いたい。

この調子では 計画完了まで60年か！？

白井 市道路整備推進計画が出された平成27年から6年間に県道と市道の歩道が整備された通学路は全体でどれくらいか。

都市建設部長 小・中学校の県道・市道の通学路の整備済みと整備中路線は22路線、約6キロ。整備率は約9%である。



不要不急の大型事業より 安全な通学路を！

白井 「子どもの命が優先」の視点から見れば、不要不急の松糸道路より通学路の歩道整備を優先すべきではないか。

市長 通学路歩道整備と松糸道路は、どちらも推進していくべきである。

かんたん解説 松糸道路などの地域高規格道路等の高速道路網の新設や大規模開発より、現在ある施設の維持・更新・改良事業を優先すべき時代になっています。すでに建設が決まっている松糸道路の建設を遅らせてでも、子どもの通学路整備などの生活道路の整備を優先すべきです。



堀金学校給食センターは 安曇野市の宝！地域の食文化、伝統
4つの学校給食センターを守れ

市長： 地域のみなさんの意見も勘案して考えたい

白井 経費節減のために自校方式的な給食センターである堀金学校給食センターを廃止し3センターに統合する方向は、市長が言う「安曇野型食育」と整合性が取れるのか。市長が言う「5つの地域には個性ある文化や歴史、特徴のある産業があり、それぞれの住民が誇りを持って暮らしている」と、

「自校方式を地域の文化として大切にしてきた地域の歴史、誇りをなきものにする3センター化」は、相容れないのではないか。

市長 現在、市の学校給食センター運営委員会に諮問し、審議中である。その答申の内容と地域の皆さんの意見も勘案して考えたい。



いつでも 誰でも 何度でも 無料で
PCR検査が受けられる体制を！

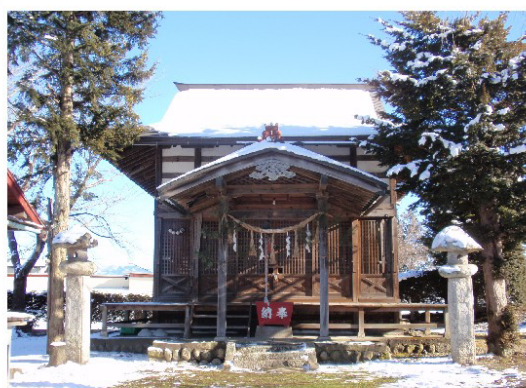
白井 市民や観光客が、いつでも・誰でも・何度でも無料でPCR検査を受けられる検査体制の整備と、リスクの大きい医療、介護、教育、保育などの従事者が検査を定期的に受けられるようにすることを国や県に強く働きかけることを要望するとともに、市独自の検査の検討を要望するが。

市長 県の方針等を踏まえて連携していきたい。

..... 今こそ徹底検査を！

第6波の感染が急拡大しています。不安を感じる市民が無料の検査場に列

を作る状況が全国で生まれています。長野県でも1月7日から薬局などで無料のPCR検査・抗原検査場を始めましたが、PCR検査は1店舗で1日10人程度しか検査ができず、抗原検査で我慢を強いられる状況です。私は、1年以上PCR検査の大規模徹底化を訴えてきましたが、今こそ症状が見えるインフルエンザと異なり、症状が見えにくい新型コロナだからこそ、検査を徹底して感染者を見つけ保護することで、社会経済活動を停滞させないことがますます重要になっています。



像が安置されている不動堂

向かって右が不動明王につかえる矜羯羅童子（こんがらどうじ）、同左が制多迦童子（せいたかどうじ）。制吒迦とも書かれる）です。目が赤いことから目赤不動として区民から親しまれ、お不動様とも呼ばれています。祭典は5月7、8日と11月7、8日に行われています。なお、東京南谷寺にも目赤不動尊があります。

所在地…堀金三田（田尻）



中央が目赤不動明王

安曇野市の文化財

2021年12月議会 一般質問 続

12月議会については、日本共産党安曇野市議団ニュースをご覧ください



デマンド あづみんの利便性向上と
巡回バスの運行を

答弁： あづみんの送迎時間の事前通知
乗車人数増 土曜運行を図りたい

臼井 市長公約の「市民の足・交通利便性の確保を図る」の内容と、デマンドあづみんを生かし、定時制で朝夕の運行時間の空白を補うコミュニティー方式による市内巡回バスの運行を一体的に検討すべきではないか。

市長 まずはデマンド交通の充実を図ることを喫緊の目標としたい。現時点ではコミュニティーバスの運行については考えていない。

臼井 デマンドあづみんの利便性向上の検討の進捗状況は。

政策部長 AI（エーアイ）予約システムの導入により乗車できる人数を

増やし、送迎時間の事前通知を図りたい。また土曜日の試行運行により、その実現性を図りたい。

乗り継ぎ料金をなくし どこへでも300円で！
乗り継ぎなしの隣接地域への運行を！

臼井 運行システムの都合で発生するあづみんの乗り継ぎ料金をなくすことと、隣接地域に乗り継ぎなしに行けるシステムを望むがどうか。

政策部長 乗り継ぎ料金をなくすことはできない。乗り継ぎを少なくし効率的に運行できるように研究を続けたい。

「あづみん」の待合場所が設定されました



堀金支所玄関に設定された待合場所



待合場所のイスと掲示

デマンドあづみんの待合場所は、すでに本庁舎や病院、商店などにありますが、昨年11月から、新たに支所（堀金・穂高・三郷・明科）の出入り口などにも設定されました。設定場所には椅子が置かれ、待合場所であることを知らせる掲示がされています。

この待合場所の設定は、あづみんを使って支所や公民館を利用する市

民の方々が窓口で要望を伝えるなどして声を上げた結果です。いつ到着するか分からないあづみんを待つ利用者にとっては、外が見える出入り口近くでイスに座って待つことができるのは助かります。

今後も、私たちの身近な要望を遠慮なく直接あるいは電話等で窓口届け（もちろん議員でも）、市政をよりよく良くしていきましょう。

有機農業とアグロエコロジー

有機農業とは・・・科学的に合成された肥料と農薬を使わないこと、また遺伝子組み換え技術を利用しないことを基本とし、環境への負荷をできる限り低減した農法を用いた農業

アグロエコロジーとは・・・生態系の営みに即した農業に関する学問・科学、その農法の実践、その実現のための社会運動



給食に有機食料を

アグロエコロジーとしての学校給食

昨年4月安曇野市内7小中学校の給食、市内の農家から農薬や肥料を使わない「自然栽培」米が提供されました。となり提供されました。環境に優しく社会的に公正な農と食の在り方を求める社会運動としてのアグロエコロジー（以後AEと略す）そのものと言えます。【関根佳恵（愛知学院大学准教授） しんぶん 農民1月3・10日号より】

国が進める有機農業

2006年には「有機農業の推進に関する法律」が公布・施行されました。また「環境保全型農業」を掲げ、環境負荷の軽減とともに、地球温暖化防止や生物多様性保全を推進しています。

市が進める環境にやさしい農業

市でも「環境にやさしい農業」を推進しています。しかし、JAあづみ管内でのJAを通じた有機農業の出荷は現在なく、化学肥料と化学農薬を50%以上減らした特別栽培米は100戸の農家による100町歩の作付けに留まります。また消費者

安曇野市の農と食のこれから

一方「英国・大学の・実証実験」と・AEに切り替えた場合・土地生産性を1.8倍にできる・AEは必ずしも労働生産性が低くない・市民社会側が求めているのは、単に環

コシヒカリを
完全無農薬 省力栽培で

寄稿 下條隆雄

昨年のコシヒカリは比較的良好な出来だった（15aで玄米12俵）。一反歩で10俵取るのがあたりまえに違いないが、私はこの結果に満足している。種まきから刈り取りまで完全無農薬かつ、田植え後は田に一歩も入らなかった結果だからである。除草のためにしたこと、は、密植し、田植え後は納豆、ヨーグルト、糖蜜、ドライイーストの発酵液を計4回水口から滴下したことと深水管理だけである。深水だけでもコビエは完璧に抑えることができるし、この発酵液を流すとアオミドロやアミミドロが増殖して水面をおおうため雑草の成長をかなり抑制できる。深水にしても発芽するオモダカ、クログアイといった宿根性雑草の発芽は抑制できないが、その成長は密植の効果もあってかなり抑えることができた。これは民間稲作研究所等の研究の成果である。この方法に弱点があるとすれば、アオミドロ等の藻類が毎年安定して発生するだけである。これらを確実に増殖させる方法はまだ確率していない。しかし、農薬漬けの米農家の皆さんには、この農法をお勧めします。楽に越したことはありません。

